

一般社団法人 日本作業療法士協会

平成28年度作業療法推進活動パイロット事業

離島で働く作業療法士を支える 研修システムの構築

～地域密着のメリットを活かし、地域に貢献する～

一般社団法人 沖縄県作業療法士協会

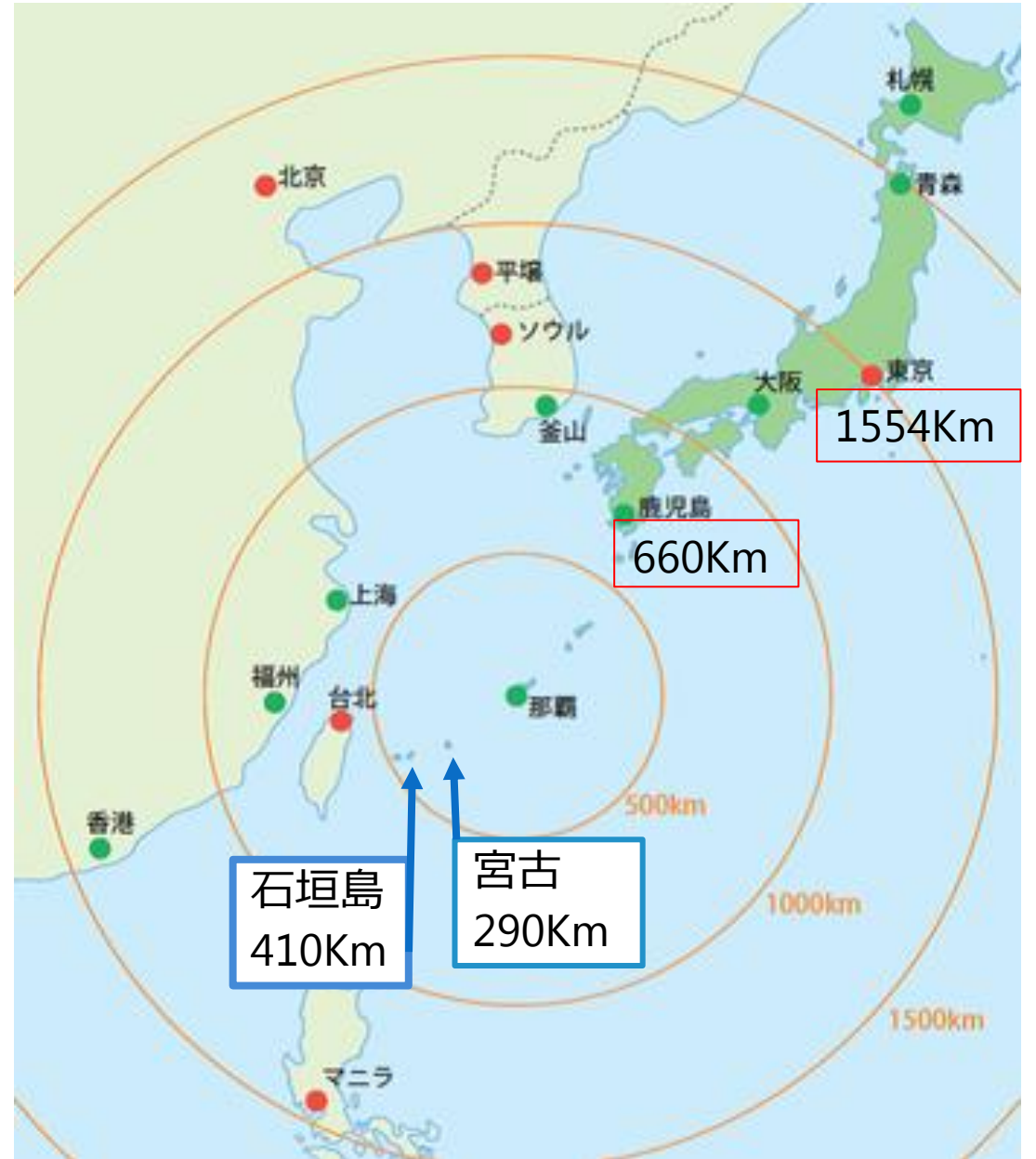


はじめに

地域包括ケアシステムが開始され、
沖縄県作業療法士会でも人材育成に
取り組んできた。

離島にもOTニーズがあるが、OT
から不安の声があがっている。

どうすればいい？



目的

- ① 離島在住OTが研修を受けやすいシステムを構築する
- ② 県士会事業の地域格差を是正する
- ③ 離島地区における地域ケア会議助言者としてOTの参加促進と
質の担保を図る
- ④ 介護予防事業におけるOTらしさを活かした参入の促進を図る

研修の機会を増やす

質の向上

離島住民へのサポート

方法

1. アンケート調査による離島在住OTの情報収集
2. Web研修実現へ向けての取り組み
3. 地域ケア会議助言者研修の実施
4. 介護予防事業で使える冊子の作成

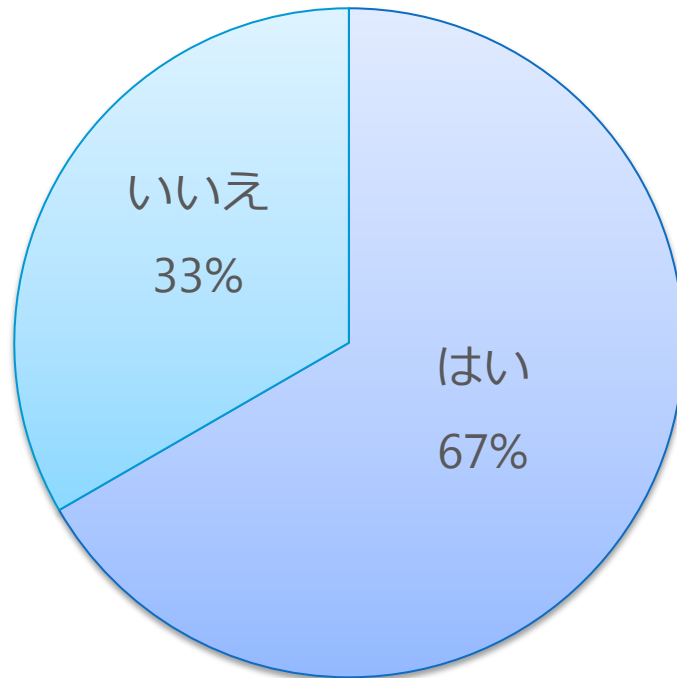
1. アンケート調査による離島在住OTの情報収集

離島在住OTと県士会で把握できているOT在勤施設にFaxで依頼し、回収した。

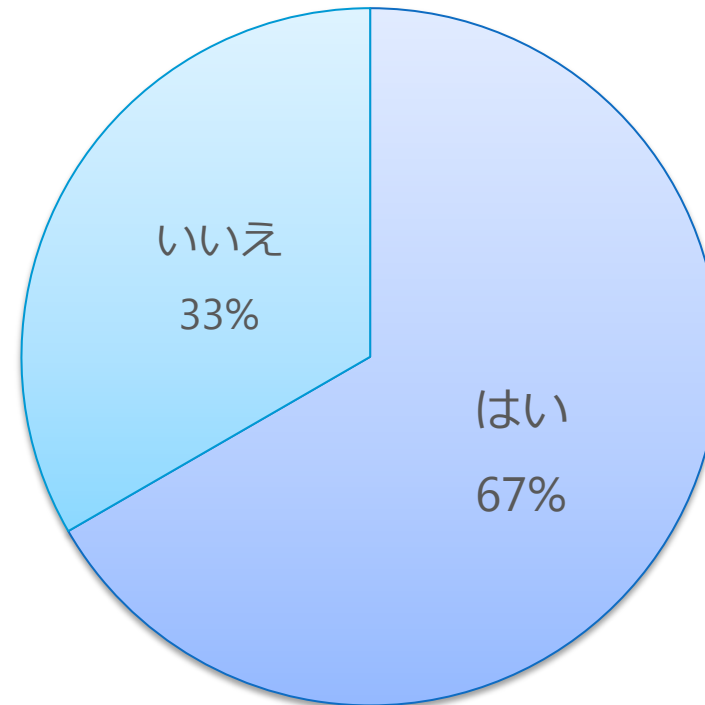
	総施設数	実施施設数	総OT数	回収数	回収率
宮古島	11	7	20	12	60%
石垣島	7	2	15	6	40%
全体	18	9	35	18	51.4%

【1】日本作業療法士協会（以下、協会）の会員ですか。

宮 古
n=12



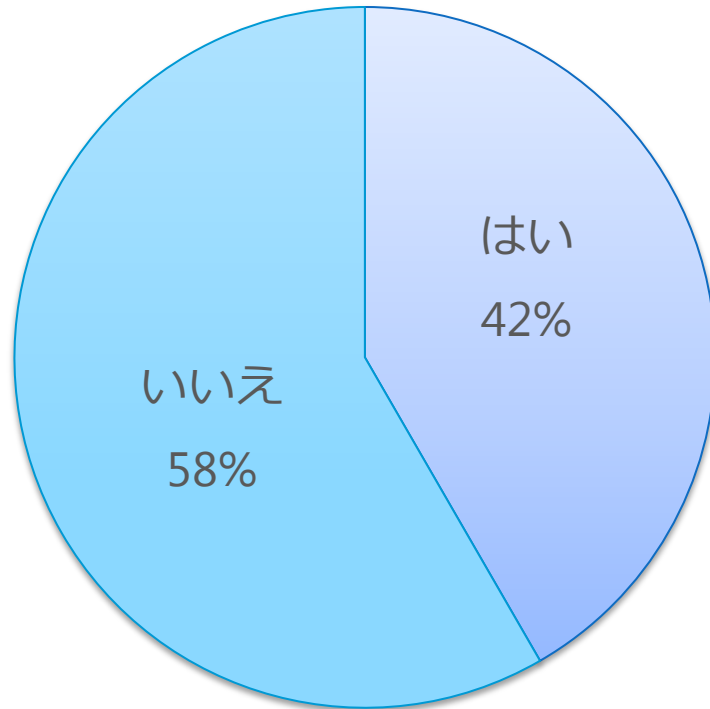
八重山
n=6



【2】 沖縄県作業療法士の会員ですか。

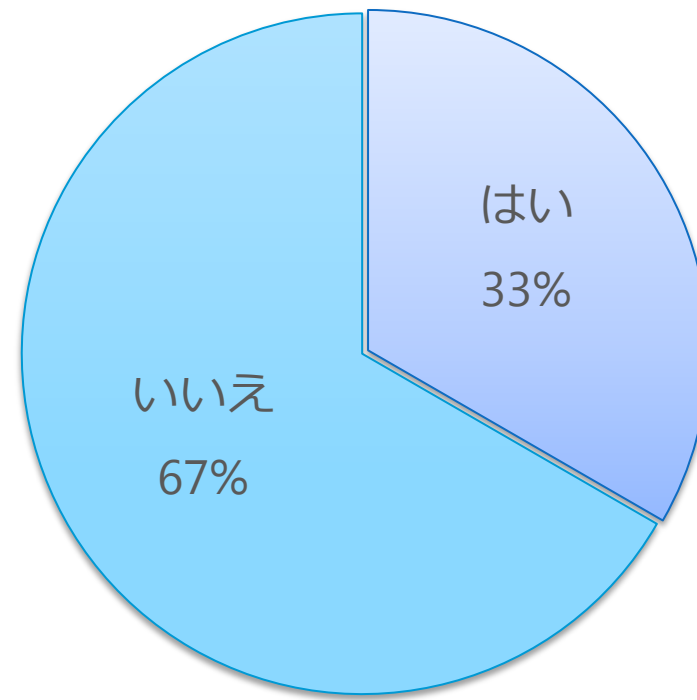
宮 古

n=12



八重山

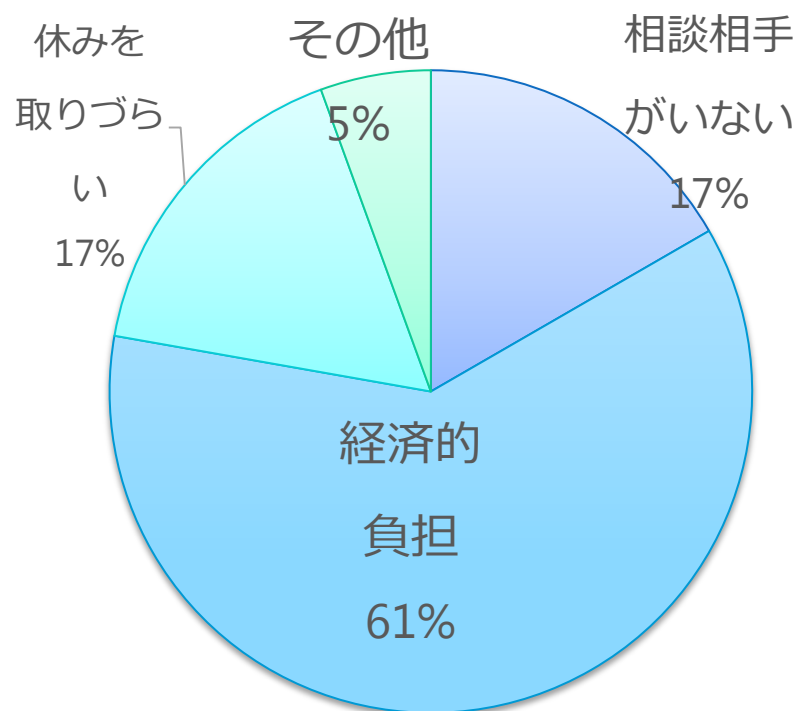
n=6



【5】 離島でOTをして不安に思うことや困ったことはありますか。

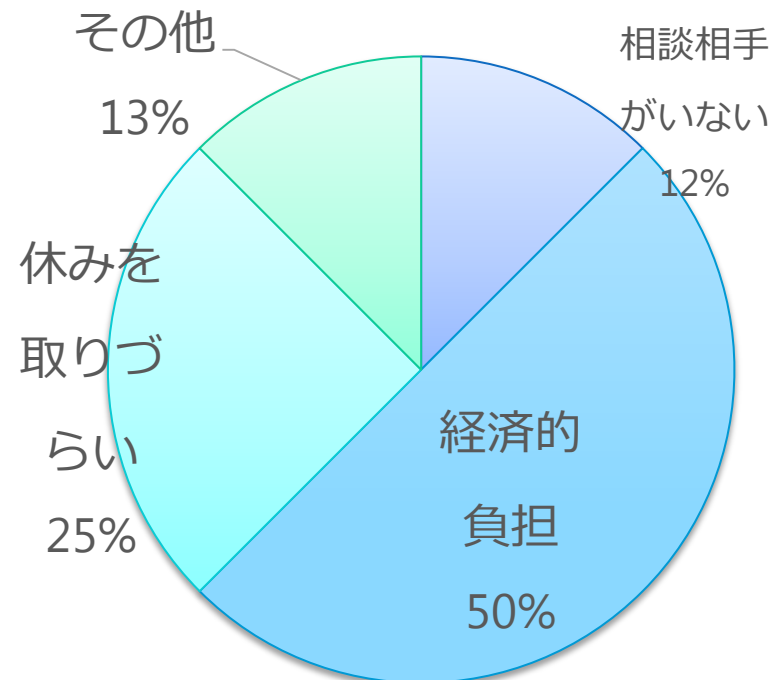
宮 古

n = 12



八重山

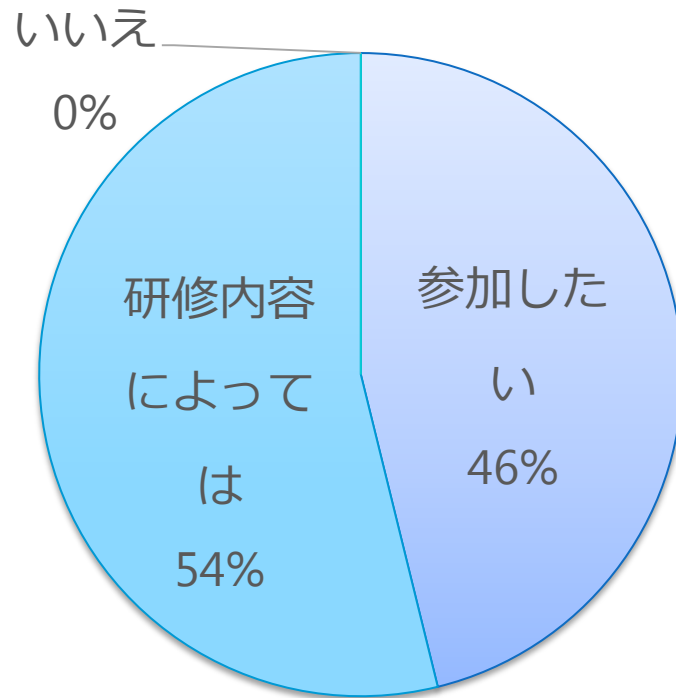
n = 6



【6】 web研修が受けられるとしたら参加してみたいですか。

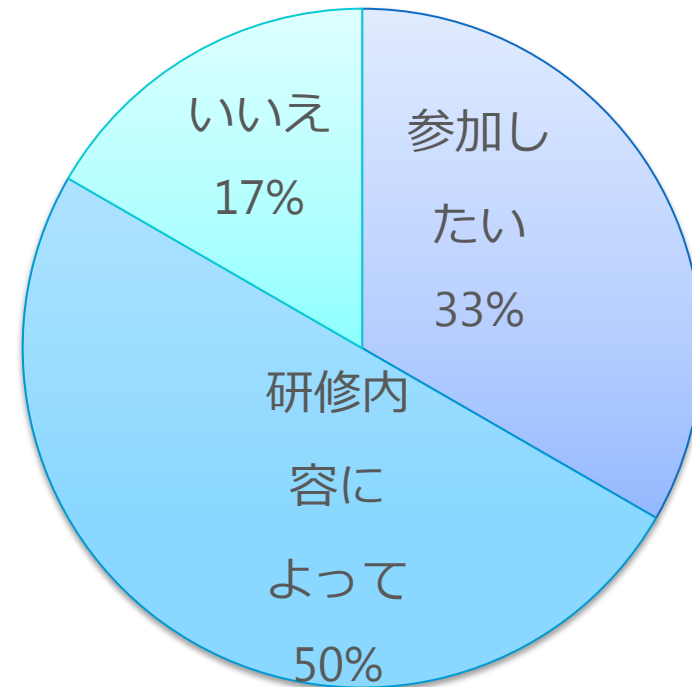
宮 古

n = 12

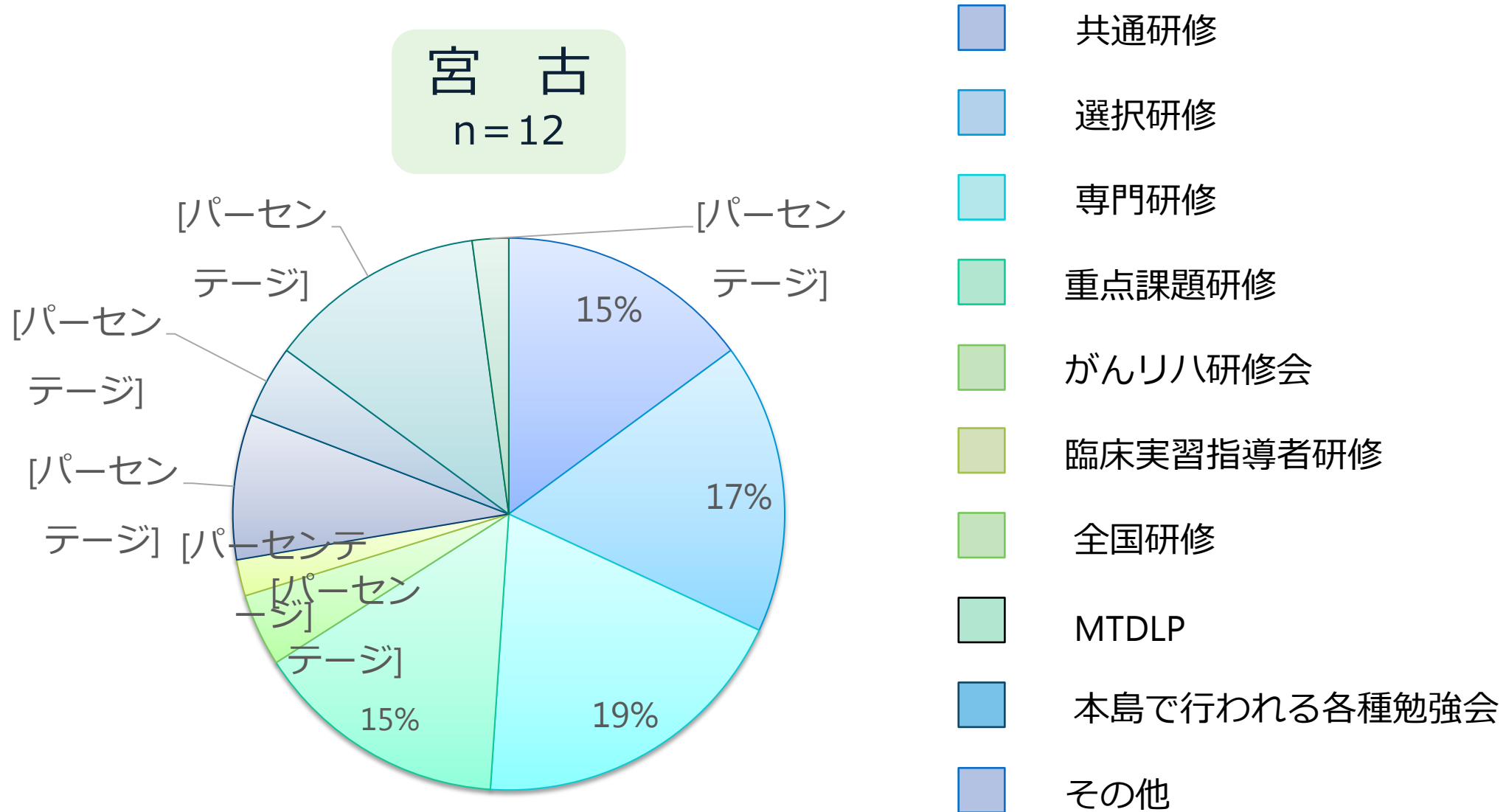


八重山

n = 6

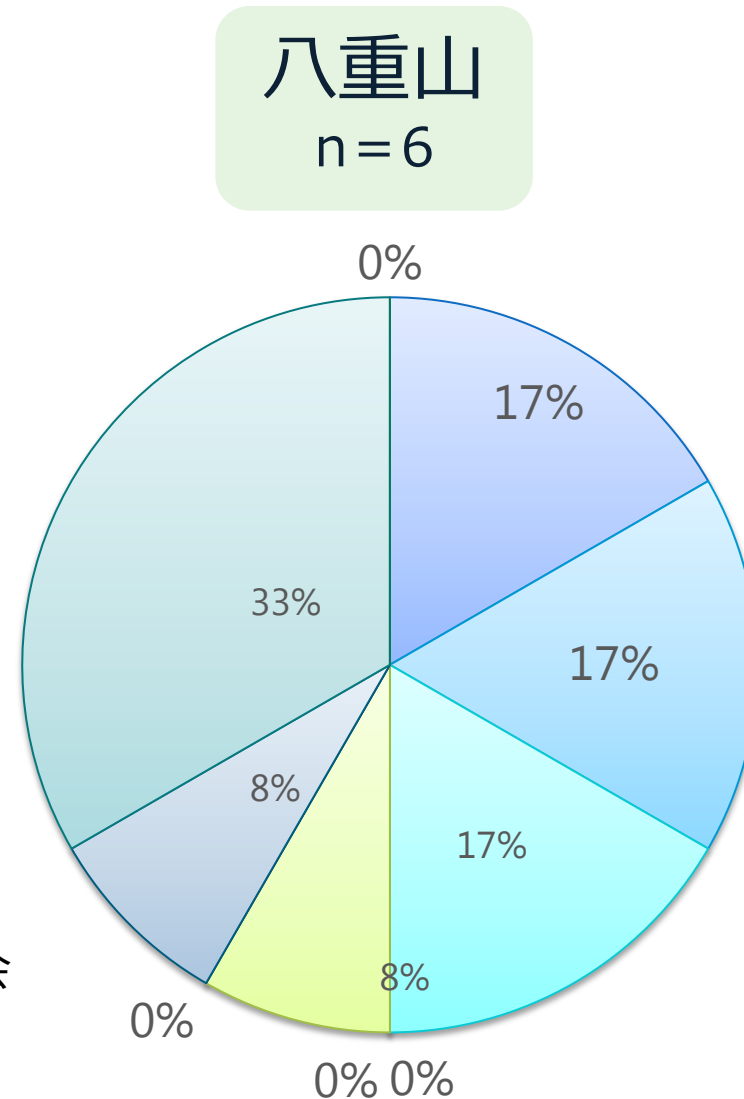


【7】 どのような研修であれば参加してみたいですか。



【7】 どのような研修であれば参加してみたいですか。

- 共通研修
- 選択研修
- 専門研修
- 重点課題研修
- がんリハ研修会
- 臨床実習指導者研修
- 全国研修
- MTDLP
- 本島で行われる各種勉強会
- その他



【9】協会や県士会に期待するものは何ですか。

宮 古

- webでの研修は良いと思います
- マンパワーの充実、その後質向上。
- 先輩後輩のつながり
- マンパワーの拡大
- ネット受講が出来ると非常に助かります。
- まずは実現させてもらいたい。

八重山

- web研修を利用した情報発信、相談窓口の開設
- 認定作業療法士取得に向けてのマイページなど方向性や進め方が各個人で違うと思うのでアドバイスを頂けるとスムーズだと考えます
- web研修はきちんとした回線のある会場でお願いします。

2. Web研修に向けての取り組み

実施日	発信	受信	内容
6月～1月	本島内同一会場		会議、Skype設定、機材確認、マニュアル作成
2月19日	本島内同一会場		Skype、PowerPoint使用、現職者基礎研修
3月4日	本島南部	本島南部	Skype、PowerPoint使用、県士会研究会勉強会
3月19日	本島南部	石垣島	Skype、word資料配布、MTDLP事例検討
3月25日	本島南部	宮古島	Skype、PowerPoint使用、県士会企画講演

NET 環境	通信状況の安定性	優先LAN > 固定Wi-Fi > ポータブルWi-Fi
	ポータブルWi-Fi	データ通信量のチェックが必要 半日で1.89GB使用した
	テザリング	不可。音声のみなど限定される。
機器	PC	通常使用するもので対応可能
	マイク	講義形式：PC内臓で可、講師が動く場合は聞き取りにくくなる グループワーク：360°集音マイクがよい
	スピーカー	受信側の人数が多ければ外付けタイプがあるとよい。 人数が少なければPC内臓で可
	カメラ	PC内臓でも可能であるが、可動性のある外付けタイプがよい。
	プロジェクター スクリーン	通常使用しているもので可。
ソフト ウェア	Skype	無料で簡単に操作できる。 通信中のデータ送信も可能。 写真が多い場合にスライドショーが使えない不具合があった。
準備	広報	離島からの参加の有無によりネットの必要性が変わるため、先行してリサーチが必要
	参加費	事前振込みでない場合、当日支払い後の入金などにより対応可
	資料	事前にデータか印刷物を送り対応可
その他	運営	会場で全体の運営をする人が必要
	Web研修方法	Web研修の流れとPC操作に詳しい人がいた方がよい マニュアルの作成と経験で対応可能
	講師・司会	サブ会場がある事を意識した進行が必要。
	会場	施設への依存性が高い。協力関係が必要。

使用したモバイルルータ

製品名	Speed Wi-Fi NEXT W04
対応ネットワーク	•WiMAX 2+ • au 4G LTE※2
質量	約140g
バッテリー 使用時間 充電中の使用可	•ハイスピードモード：WiMAX 2+ ハイパフォーマンスマード：約390分 •ハイスピードプラスエリアモード：WiMAX 2+、 LTE使用 ハイパフォーマンスマード：約260分 •ノーマルモード：約390分
対応OS	Windows® 10、8.1、7 Mac OS Sierra 10.12、Mac OS X
Wi-Fi規格	IEEE802.11ac/n/a(5GHz帯)、11n/g/b(2.4GHz帯)



UQ WiMAX

上限なし
月額4,380円

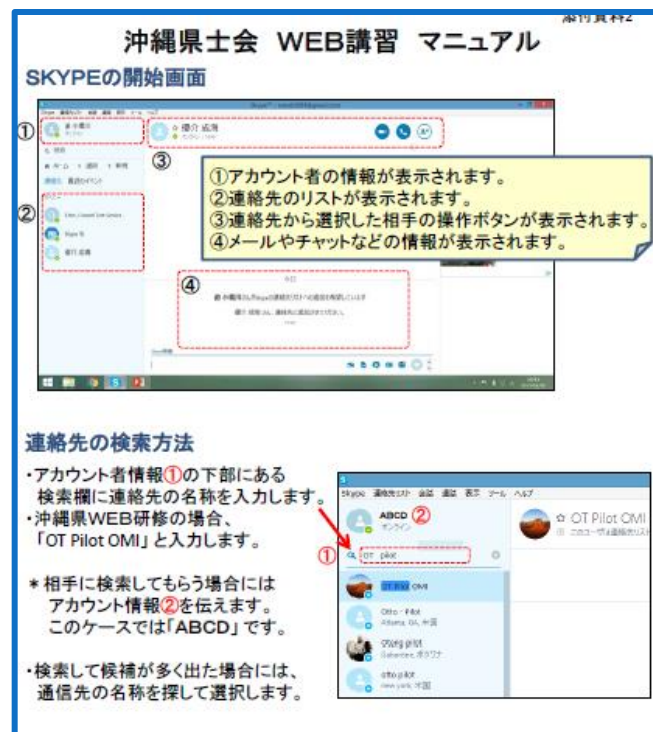
7 GB
月額3,696円

機材環境

今回購入した物品：カメラ1,500円程度

	本島	宮古島	石垣島
NET環境	ポータブルWi-Fi	施設Wi-Fi	施設内有線LAN
ソフトウェア	県士会Skype	個人Skype	施設Skype
PC	ノートパソコン MacBook Pro	ノートパソコン	RENOVO デスクトップ
カメラ	マイク内蔵型 Webカメラ HD720p	使用せず	Webカメラ
マイク		使用せず	YAMAHA プロジェクトフォン PJP50usb(定価17万)
スピーカー	ノートPC	エレコムUSB スピーカー-6W	
スクリーン	要	要	23inchディスプレイ
プロジェクター	要	要	使用せず

Skype使用マニュアル作成



skype とは

インターネットを使った音声通話などを可能にする無料のソフトウェア。

Skypeのユーザー同士の通話は無料。

複数人での同時通話やビデオ会議、テキストによる会話など、優れた点も多く、ユーザーを増やしている。

主要OSに対応している。

Skypeが初めてでも設定できるようマニュアルを作成し、web研修で使用した。

グループワーク形式のweb研修



プロジェクターとスクリーン



スピーカー



Webカメラ

日にち：平成29年3月19日(日)

時間：午前9時～11時

場所：沖縄県立八重山病院

参加者：4名（1名は事業係）

研修名：MTDLP事例検討会



グループワークの様子（本島）

講義形式のweb研修



診療所外観



使用機器



会場の様子（後方にもスペースあり）

日にち：平成29年3月25日（土）

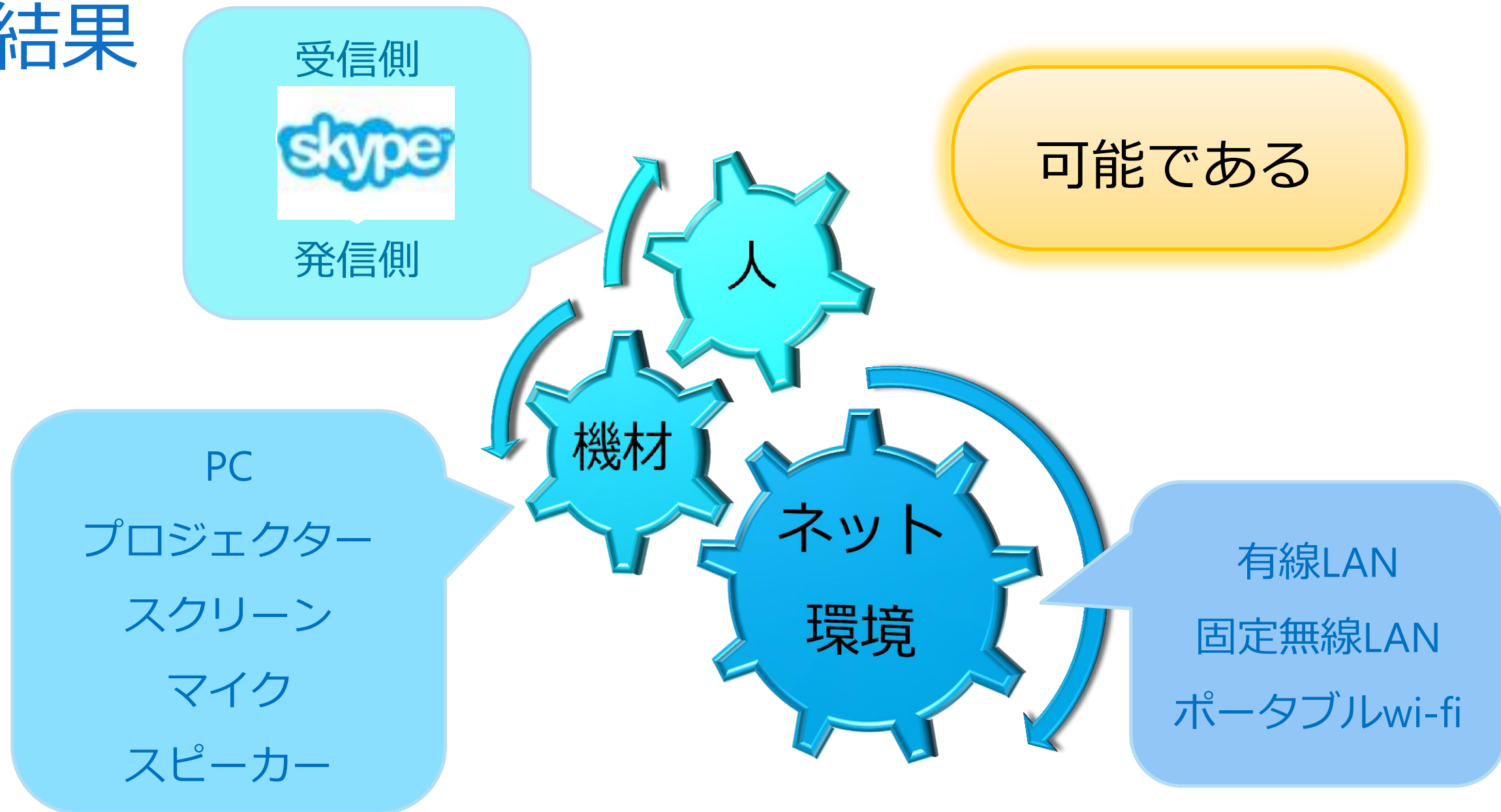
時間：17：00～19：00

場所：うむやすみゃあす・ん診療所

参加者：5名（1名は新卒者、1名は事業係）

研修名：「創造的な放課後を作業療法士と共につくり育てる」

結果





無料で使用できる施設が増えつつある。

デザリング	Mobile Wi-Fi	固定 Wi-Fi	有線LAN
×	○	○	◎

3. 地域ケア会議助言者に向けての研修

一般社団法人 沖縄リハビリテーション専門職協会発足

< 構成団体 >

- ・公益社団法人 沖縄県理学療法士会
- ・一般社団法人 沖縄県作業療法士会
- ・一般社団法人 沖縄県言語聴覚士会

共同して宮古島と石垣島にも地域ケア会議助言者研修を開催した

4. 介護予防マップの作成

実践者からの情報収集



他職種にも伝わる

生活の中の作業に目を向ける

現場で役に立つ

OTらしく

捨て去られない

配布先

- ・ 沖縄県（1部）
- ・ 沖縄県内47市町村（47部）
- ・ 沖縄県内58地域包括支援センター（61部）
＊希望があり追加配布した。
- ・ 都道府県作業療法士会（47部）
- ・ 沖縄県県士会員（676部）



平成28年度 日本作業療法士協会
作業療法推進活動パイロット事業
沖縄作業療法士会

「目指したい方向が描いてあり、何のために日々苦
労をしているのか改めて考える機会となった」
「追加で購入したい」

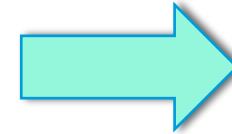
経費

項目	費用
離島への派遣（1名×2回×2島）	119,645
Webカメラ等	4,146
介護予防map印刷および郵送	309,347

Web研修にかかる経費は少ない

まとめ

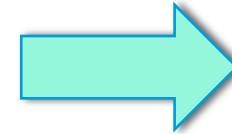
① 離島在住OTが研修を受けやすいシステムを構築する



Web研修

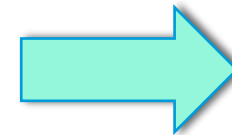
② 県士会事業の地域格差を是正する

③ 離島地区における地域ケア会議助言者としてOTの参加促進と質の担保を図る



POSによる
合同研修

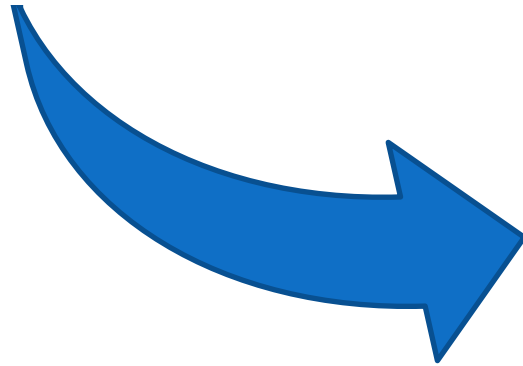
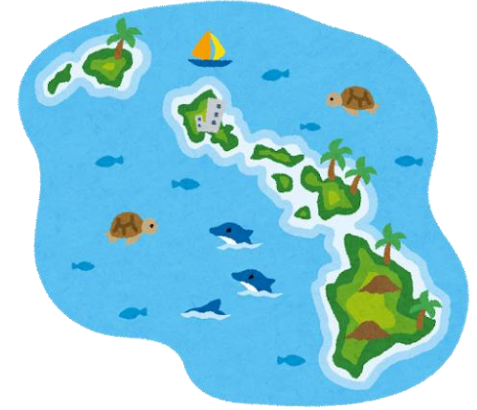
④ 介護予防事業におけるOTらしさを活かした参入の促進を図る



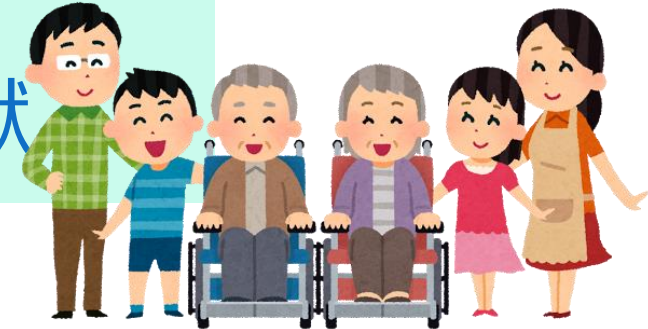
介護予防マップ

web研修の可能化による展望

1. 離島・僻地在住会員への研修頻度UP
2. 会員の経済的・時間的負担軽減
3. 会員同士のつながりの拡大
4. 子育て世代の参加



- ◆ 会員の増加
- ◆ 質の向上
- ◆ 地域貢献



離島で働く作業療法士を支える研修システムの構築 ～地域密着のメリットを活かし、地域に貢献する～

今後の取り組み



継続してweb研修方法の確立を目指す



介護予防冊子の使用状況をリサーチする



他士会への情報提供を行う

CEQ情報提供

藪脇 健司先生（吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業療法学科）

介護予防実践情報提供

内間 勝弘（大浜第二病院）

内間 利奈（大浜第二病院）

川満 朝陽（大浜第二病院）

高良 沙月（大浜第二病院）

馬場 隆（大浜第二病院）

比嘉 美矢子（地域包括支援センター繁多川）

パイロット事業スタッフ

小橋川 直（沖縄リハビリテーションセンター病院）

金城 基（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）

齊藤 武彦（沖縄県立八重山病院）

島 佑太郎（沖縄リハビリテーションセンター病院）

新里 碧（沖縄リハビリテーション福祉学院）

照屋 若夏（沖縄リハビリテーション福祉学院）

徳里 尚美（天久台病院）

中川 浩（うむやすみゃあす・ん診療所）

成海 優介（沖縄リハビリテーションセンター病院）

古川 宗宏（クリニックやまぐち）

山城 峻（沖縄リハビリテーション福祉学院）

吉岡 美和（沖縄リハビリテーション福祉学院）

